

熊本大学病院

緩和ケアセンター 広報誌

～地域連携をめざして～



がんゲノム医療とがん遺伝子パネル検査

Vol. **8**

2021.12




 **ご 挨拶**

この度、緩和ケアセンター長の吉武淳先生よりお声がけを頂き、昨今本格的に実施されつつあるがんゲノム医療について特集させていただくこととなりました。まずは、このような機会をお与えいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

がんゲノム医療の入り口ともいえるがん遺伝子パネル検査は、2019年6月に保険収載されました。がんゲノム医療連携病院である熊本大学病院においても、院内外より多くの患者さまをご紹介いただき、すでに150例以上で検査が実施されています。この検査は、腫瘍細胞が獲得した遺伝子変異(遺伝子バリエーション)を網羅的に解析するもので、得られた遺伝子バリエーションの情報をもとに、分子標的治療薬をはじめとする薬物療法の候補を検討するために行われます。今後適応は拡大していくものと考えられますが、現時点では、標準治療が終了しつつある固形腫瘍、および、標準治療に限られる希少がん・原発不明がんの患者さまが主な検査対象となっています。

標準治療が実施できない状況になった患者さまでも治療が継続できる可能性があるということで注目を集めており、実際、熊本大学病院で行われたがん遺伝子パネル検査で候補となった薬剤が実際に患者さまに投与され、目覚ましい効果を発揮したケースもあります。しかしながら、検査を受けた場合であっても、実際に何らかの治療に結び付く割合は現時点では必ずしも高いわけではなく、この点が大きな課題として残されています。一方で、今後も徐々に分子標的治療薬は増えていく見込みですので、これからさらに、標準治療とがんゲノム医療とが有機的に組み合わせられる形でがん治療が行われるようになっていくことが期待されています。

また、標準治療実施後の患者さまが主な対象となることから、緩和医療との連携という点も重要であると考えています。当院では、患者さまに関わる医療従事者および関係する各部門(緩和ケアチーム、がん相談支援センター、遺伝カウンセリングチームなど)が連携し、検査後のフォローにもできる限り留意していますが、単にがん遺伝子パネル検査を実施するだけでなく、患者さんやご家族のお気持ちを考慮し、全人的な医療の一部として本医療を推進することの重要性を忘れぬようにしたいと思います。

本特集において、がん遺伝子パネル検査の概要や特性、検査の手順などを紹介させていただいておりますので、診療のご参考になさっていただけますと幸いです。

熊本大学 大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座
熊本大学病院 がんゲノムセンター

松井 啓隆





目次

1. がんゲノム医療とがん遺伝子パネル検査	1
2. 「私のノート」・「私の日記」	21
3. 在宅緩和ケアマップ	22
4. 一般市民への普及啓発活動	23
5. 医療従事者への活動	24
6. 熊本県がん診療連携拠点病院	26
7. 緩和ケア病棟のある病院	26
8. 緩和ケアセンターのご案内	27

熊本大学病院連絡先一覧



緩和ケアセンターホームページ

<https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/palliativecare/>

緩和ケアセンター

TEL:096-373-5637 FAX:096-373-5587
Mail:kanwa@jim.kumamoto-u.ac.jp
〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1 (外来診療棟2階)

緩和ケア外来

TEL:096-373-5637 FAX:096-373-5587
平日:8:30~17:15

外来化学療法センター

TEL:096-373-5640 FAX:096-373-5640
平日:8:30~17:15

地域医療連携センター

TEL:096-373-5934、096-373-5701
FAX:096-373-5957
平日:8:30~17:15

がん相談支援センター

TEL:096-373-5676 FAX:096-373-5720
平日:8:30~17:15



1 がんゲノム医療とがん遺伝子パネル検査

「がん遺伝子パネル検査について」

熊本大学病院は、2018年にがんゲノム医療連携病院に指定され、2019年6月にがん遺伝子パネル検査が保険収載されて以来、多くの検査を受け付けています。2020年4月には、がんセンター内にがんゲノムセンターが開設され、さらにきめ細かな対応ができるようになりました。

悪性腫瘍は一般に、臓器や進行期に応じ、主にそれぞれのガイドラインに基づいた標準治療が行われますが、標準治療を行っても腫瘍の縮小が十分に得られない患者さまもいらっしゃいますし、悪性腫瘍の種類によっては、そもそも標準治療が限られるか、確立されていないものも少なくありません。がん遺伝子パネル検査は、主にそのような患者さまを対象として行われます。本特集にありますように、この検査は、がん細胞が持つ遺伝子の異常(遺伝子変異)を網羅的に解析するもので、遺伝子変異情報をもとにした、分子標的治療などの候補を検討するために行われる検査です。

現在、保険診療として行われる検査には3種類があり、病理組織標本を用いる検査(NCCオンコパネルおよびFoundationOne CDx)と、末梢血液のみを用いる検査(FoundationOne Liquid CDx)があります。原則として、手術や生検などで採取され保管されている既存の病理組織検体が検査に用いられますが、何らかの理由で検査に使用できる組織検体が得られない場合には、FoundationOne Liquid CDx検査の実施が考慮されます。この検査は2021年8月に保険収載された新しい検査で、末梢血液中に存在する腫瘍細胞由来のDNA(血中循環腫瘍DNA, ctDNA)を精製し解析する検査です。リキッドバイオプシーとも呼ばれています。

がん遺伝子パネル検査では、多くの悪性腫瘍で、何らかの遺伝子変異が検出されてきますが、残念ながら、実際にその情報が治療につながる割合は10%程度と高くありません。これは、遺伝子変異に対応した効果が期待できる薬剤がまだ充分とはいえないこと、また、そのような薬剤には現在治験段階のものも多く含まれますが、そうした治験を受けられる医療施設が国内ではごく限定されていることが多いことなどに起因するものです。

加えて、標準治療終了後の全ての患者さまをがん遺伝子パネル検査の対象とすることは実際には難しく、治験等の候補が得られた場合に、そのような治療の対象となることが期待できる、全身状態や疾患の進行速度がある程度落ち着いている患者さまが主な対象となります。

このように、がんゲノム医療にはまだ課題が多いのも事実ではありますが、がん遺伝子パネル検査に基づく患者申出療養をはじめとする様々な出口戦略も考慮され、本医療を推進するための試みが続けられています。将来的には、より早い段階でがん遺伝子パネル検査を実施できるようになることも期待されます。

もし、がん遺伝子パネル検査の適応と考えられる患者さまがいらっしゃいましたら、遠慮なく熊本大学病院がんゲノムセンターまでご相談ください。

なお、挨拶文にも書かせていただきましたように、がん遺伝子パネル検査は、標準治療実施後の患者さまが主な対象となることから、緩和医療との連携も重要であると考えています。当院では、ゲノム医療に関わる部門と緩和医療に関わる諸部門が普段から連絡を取り合い、連携を図っていますが、ご紹介いただくご施設の主治医・担当医はもとより、看護や緩和ケアに関わる医療スタッフの方々とも情報を共有することで、全人的な医療を提供に繋げることを目指しています。ご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

熊本大学 大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座
熊本大学病院 がんゲノムセンター

松井 啓隆

目次

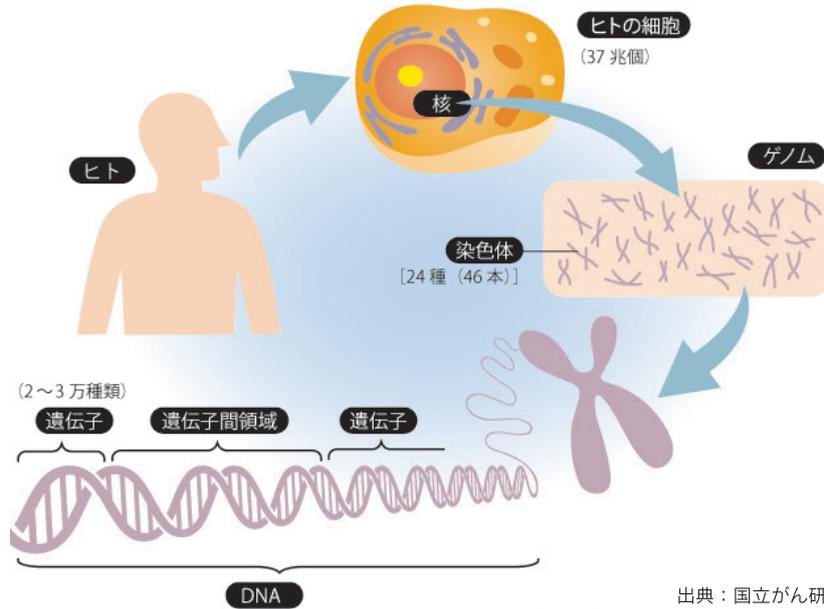
01. 遺伝子・ゲノムDNA	3
02. DNA(遺伝子)損傷と悪性腫瘍	3
03. 分子標的治療	4
04. がん遺伝子パネル検査とは	4
05. がんゲノム医療とは (1)	5
06. がんゲノム医療とは (2)	5
07. 現在行われているがん遺伝子パネル検査(1)	
07.1. マッチドペア検査でわかること:生殖細胞系列変異と体細胞変異の違い	6
08. 現在行われているがん遺伝子パネル検査(2)	
08.1. リキッドバイオプシーとは	7
09. がん遺伝子パネル検査を受けられる医療施設	
09.1. 検査の流れ	8
09.2 エキスパートパネルによる判定会議	9
10. 熊本大学病院で実施した遺伝子パネル検査	10
11. がん遺伝子パネル検査を受ける際の注意点	11
12. がんゲノム医療の位置づけ	12
13. 検査を希望される患者さんの受診の流れ	12
14. がんゲノム医療におけるチーム医療:看護師の立場から	13
15. 多職種連携によるがんゲノム医療の実現	13
16. 熊本大学病院におけるがん遺伝子パネル検査の実施手順	14



01. 遺伝子・ゲノムDNA

私たちの体にあるほとんどの細胞は核を持ち、その中にゲノムDNAが格納されています。ゲノムDNAは約30億の暗号配列を持ち、およそ23,000の遺伝子と呼ばれる領域を持ちます。

遺伝子は、細胞が必要とするタンパク質を合成するための設計図として使われています。

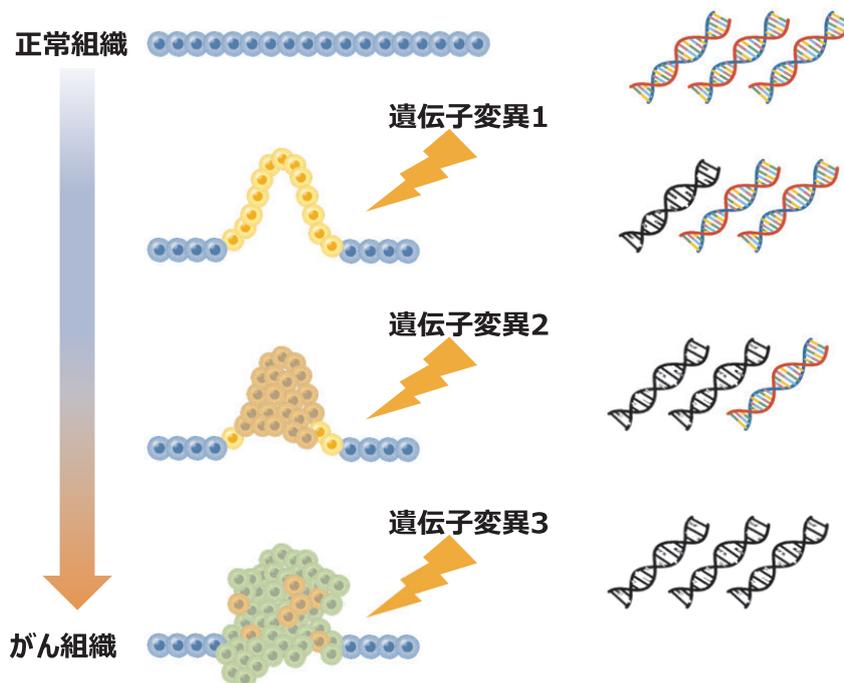


出典：国立がん研究センターがん情報サービス
国立がん研究センターウェブサイト「がんゲノム医療 もっと詳しく」
https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/genomic_medicine/genmed02.html#005
(最終アクセス:2021年8月2日)

02. DNA(遺伝子)損傷と悪性腫瘍

私たちの細胞には、様々な理由で遺伝子配列に異常が生じ、体内ではそれらは修復を受けています。あるいは、遺伝子損傷を受けた細胞は排除される場合もあります。

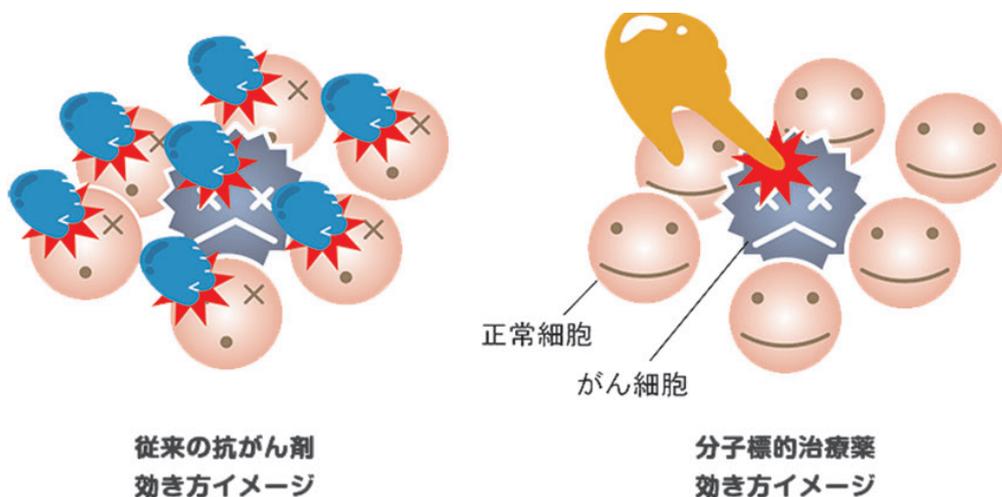
しかしながら、遺伝子損傷の修復が不完全なまま蓄積すると、悪性腫瘍が生じます。



03. 分子標的治療

遺伝子配列に異常が生じ腫瘍化した細胞に対して特異的に効果を発揮する薬剤を、分子標的治療薬といいます（注：悪性腫瘍以外でも、分子標的治療薬が用いられることがあります）。

腫瘍細胞では、遺伝子変異により異常なタンパク質が合成されることがあります。これを標的として薬剤効果を発揮することができれば、正常組織・細胞へのダメージを最小限に、効率的に腫瘍細胞のみを攻撃することが可能となります。

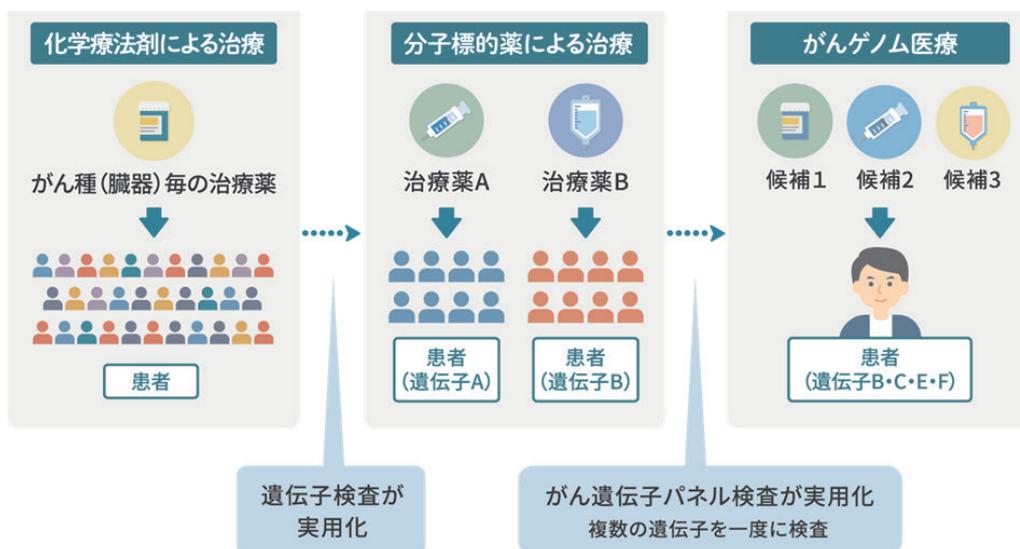


出典：ノバルティス社 グリベックナビ「分子標的治療薬とは？」
<http://www.glivec.jp/glivecnavi/glivec/molecule.html>
 （最終アクセス：2021年8月2日）

04. がん遺伝子パネル検査とは

分子標的治療薬の効果が期待できるか予測するため、悪性腫瘍細胞が持つ遺伝子変異（遺伝子配列の異常）を確認する検査が行われています。

以前は対象となる遺伝子をひとつずつ調べるのが一般的でしたが、近年では、同時に複数の遺伝子について調べることが広く行われるようになってきました。これをがん遺伝子パネル検査といいます。

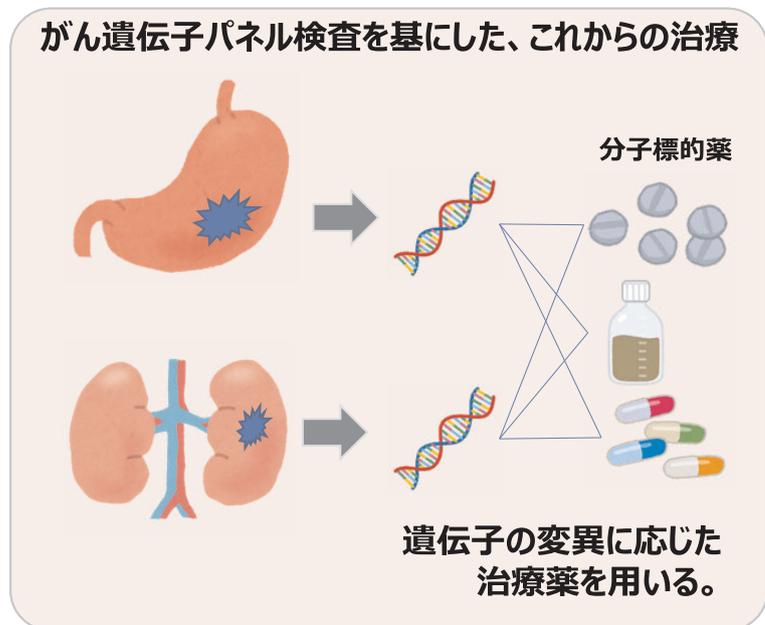
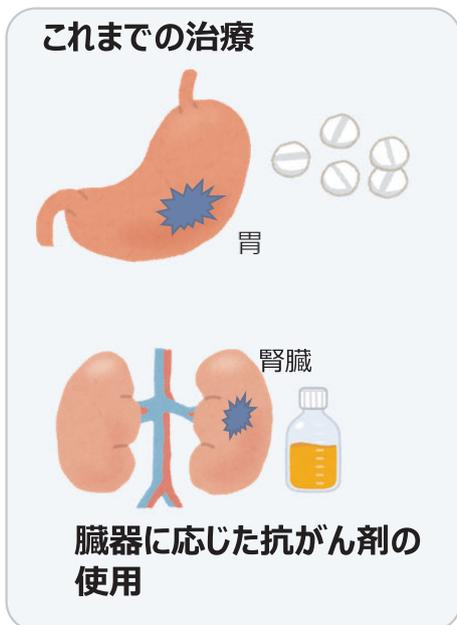


出典：がんゲノム情報管理センター「がんゲノム医療について」
https://for-patients.c-cat.ncc.go.jp/knowledge/cancer_genomic_medicine/about.html
 （最終アクセス：2021年8月2日）

05. がんゲノム医療とは(1)

また、これまでは臓器に応じて悪性腫瘍の治療薬が定められていましたが、最近では、悪性腫瘍の発生した臓器に関わらず、遺伝子変異の有無により保険適応が判断される薬剤も増えつつあります。

今後さらに、従来の臓器別の治療に加えて、遺伝子変異情報を基にした治療薬の選択が広く行われるようになることが見込まれています。このような治療のことを、一般にがんゲノム医療といいます。



06. がんゲノム医療とは(2)

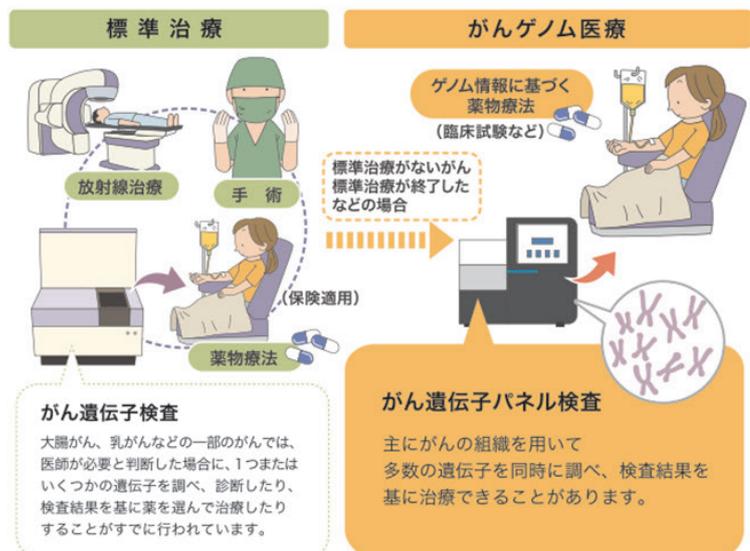
現在のところ、悪性腫瘍と診断された患者さんが最初からがん遺伝子パネル検査を受けられるのではなく、一般に、手術や放射線治療などの標準治療が終了した後も腫瘍が残存する方が、がん遺伝子パネル検査の主な対象です(要件については、後半に詳しく記載しています)。

がん遺伝子パネル検査の結果をもとに、分子標的治療薬などによる薬物療法が行われます。

標準治療

- 手術
- 放射線治療
- 薬物療法(抗がん剤)

標準治療が終了しても腫瘍が残っている患者さんに対して、「がん遺伝子パネル検査」、および検査結果をもとにした「がんゲノム医療」が開始された。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス
国立がん研究センターウェブサイト「がんゲノム医療」

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/genomic_medicine/genmed02.html
(最終アクセス:2021年8月2日)

07. 現在行われているがん遺伝子パネル検査(1)

2019年6月に、次のふたつのがん遺伝子パネル検査が保険収載され、熊本大学病院でも実施しています。保険点数はいずれも56,000点です。

どちらの検査も腫瘍組織検体を用いて行う検査ですが、NCCオンコパネルは、組織検体に加えて血液検体もあわせて検査するのが特徴です。このような検査方法をマッチドペア検査といいます。

1) OncoGuide NCCオンコパネル

- 日本のシスメックス社が開発。
- 合計137の遺伝子変異、融合遺伝子などを検出する。
- 腫瘍組織検体と血液検体のマッチドペア検査を特徴とする。

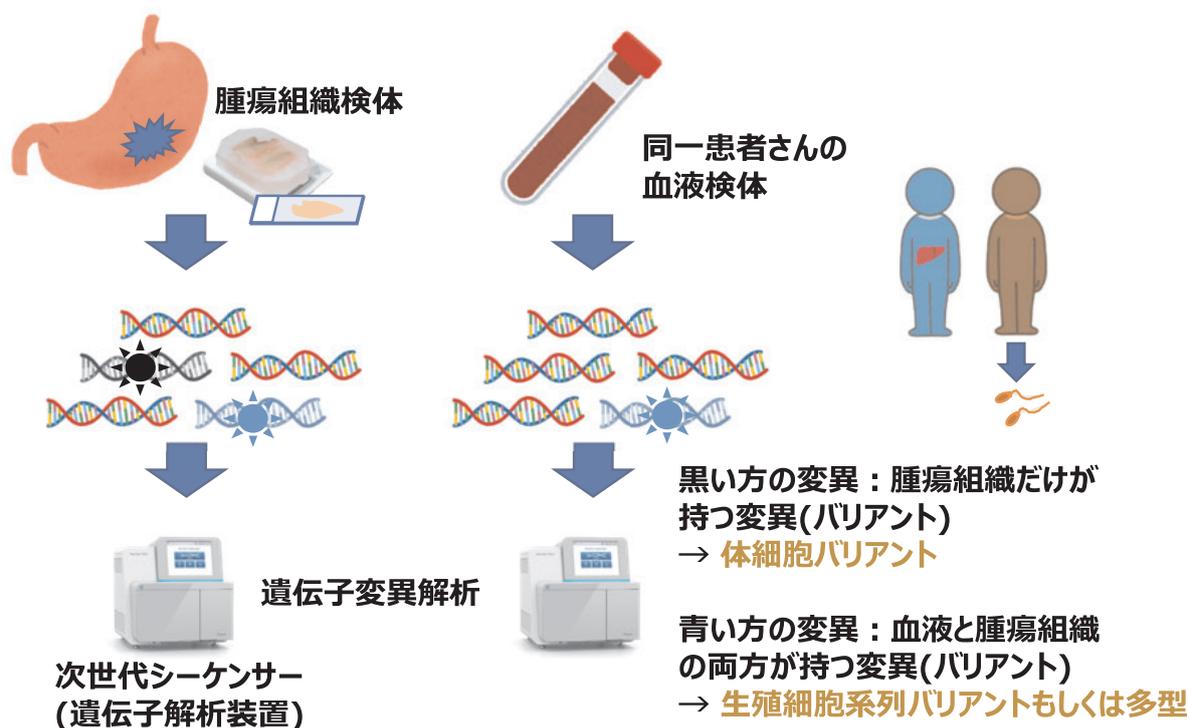
2) FoundationOne CDx (ファウンデーション・ワン)

- 国内では、中外製薬が米国Foundation medicine社と提携して実施。
- 合計324の遺伝子変異、融合遺伝子などを検出する。
- 腫瘍組織検体のみを用いて検査を行う。

07.1. マッチドペア検査でわかること：生殖細胞系列変異と体細胞変異の違い

悪性腫瘍の一部は、遺伝的な背景により発症することが知られています。BRCA1/2遺伝子の病的バリエーション(変異)による遺伝性乳がん・卵巣がん症候群(HBOC)や、DNAミスマッチ修復遺伝子の病的バリエーションによるLynch症候群などが良く知られています。

腫瘍組織検体のみを用いる検査では、遺伝的要因を伴う遺伝子バリエーション(生殖細胞系列バリエーション)と腫瘍組織だけが持つバリエーション(体細胞バリエーション)の明確な区別は困難ですが、マッチドペア検査では、この点をより明確に調べることが可能です。



08. 現在行われているがん遺伝子パネル検査(2)

がん患者さんの血液中には、がん細胞由来のDNAが流れており、これをctDNA(血中循環腫瘍DNA)と
いいます。血液からctDNAを取り出して調べるのがリキッドバイオプシーです。

がん細胞そのものも血液中を流れていますが、この検査では、がん細胞ではなく、がん細胞が壊れること
などにより血中に出てくるDNAを直接調べます。

2021年8月に、新たに保険収載されました。保険点数は56,000点です。

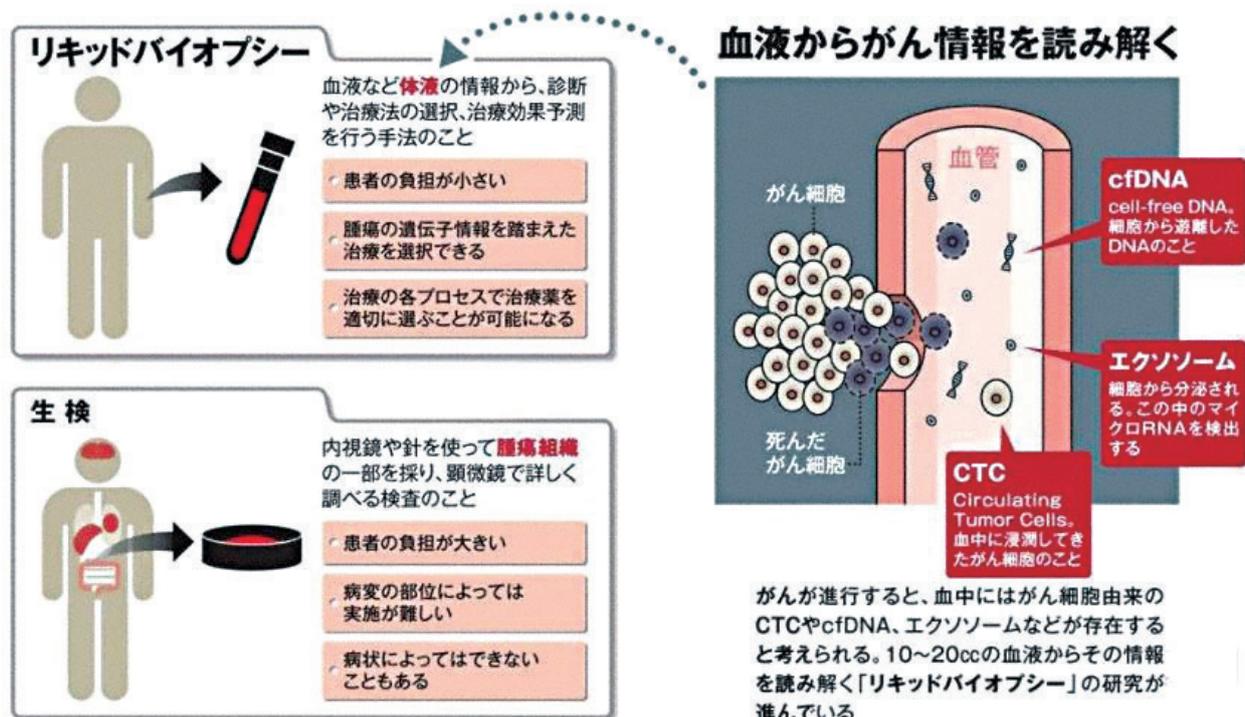
3) FoundationOne Liquid CDx (ファウンデーション・ワン・リキッド)

- FoundationOneと同じ遺伝子を検査対象とする。
- 病理組織検体は用いず、末梢血液(17mL)を検査に使用する。

08.1. リキッドバイオプシーとは

がん遺伝子パネル検査では原則として腫瘍組織検体を用いますが、リキッドバイオプシーでは、検査に用
いる組織検体が無い場合(注)であっても検査を受けることができます。

(注) がん遺伝子パネル検査では、主に、過去の手術や生検で採取されたものが腫瘍組織検体として用いら
れます。リキッドバイオプシーでは、過去の組織検体が古い(3年以上を経ている)・少量しかないなどの理
由で、腫瘍組織検体を用いるがん遺伝子パネル検査が困難な場合に対象となります。



出典：血液からがん情報を読み解く(AERA 2019年2月11日号)より

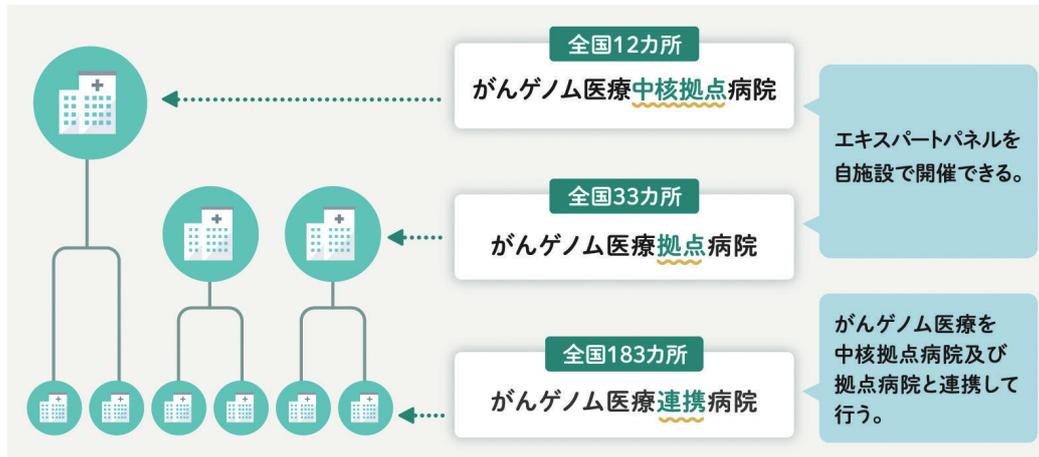
09. がん遺伝子パネル検査を受けられる医療施設

2021年10月現在、国内の以下の医療施設でがん遺伝子パネル検査を受けることができます。

最新情報は、厚生労働省の「がん診療連携拠点病院等」にある「がんゲノム医療中核拠点病院等の一覧表」を参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jryou/kenkou/gan/gan_byoin.html (厚生労働省資料)

熊本県では、済生会熊本病院と熊本大学病院ががんゲノム医療連携病院の指定を受けています。



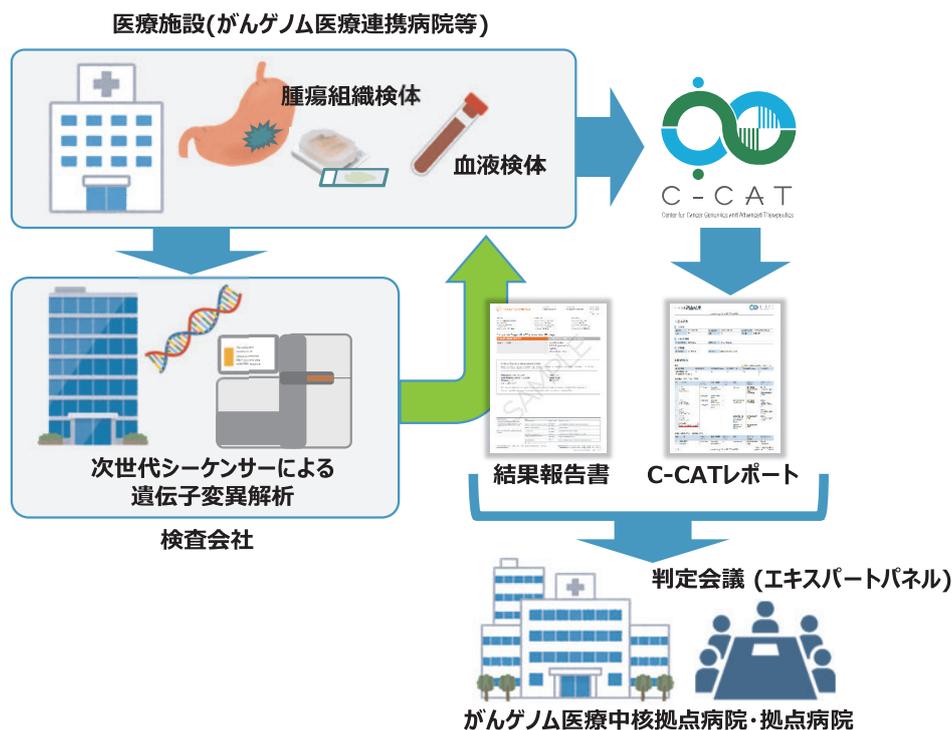
出典：がんゲノム情報管理センター「検査を受けたいときは」
https://for-patients.c-cat.ncc.go.jp/knowledge/cancer_genomic_medicine/get_tested.html
 (最終アクセス:2021年11月17日)

09.1. 検査の流れ

がん遺伝子パネル検査は、専門の検査施設で行われます。腫瘍組織検体や血液からゲノムDNAが取り出され、検査対象遺伝子の解析が行われます。検査に提出してからおよそ2-3週間で結果報告書が返されます。

その結果をがんゲノム情報管理センター (C-CAT)に送ると、適応となる可能性のある薬剤や治験などの情報(C-CATレポート)が得られます。

このふたつの報告書を基に、がんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院が行う判定会議(エキスパートパネル)が開催されます。



09.2 エキスパートパネルによる判定会議

エキスパートパネルでは、検査により得られた遺伝子変異情報や病理組織検査情報・家族歴などをもとに、患者さんに適応となる分子標的治療薬等がないか議論を行います。

保険診療で行われるがん遺伝子パネル検査では、必ずエキスパートパネルを実施する必要があります。

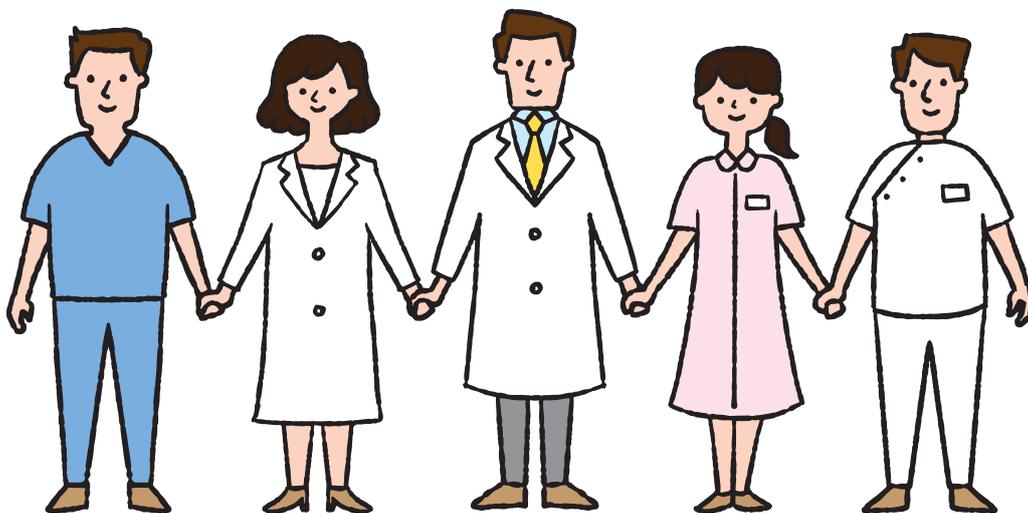
熊本大学病院の場合は、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院にエキスパートパネルの開催を依頼しています。熊本大学病院の関係者は、岡山大学が開催するウェブ形式でのエキスパートパネルに参加します。

がんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院で開催されるエキスパートパネル



連携病院：ウェブ経由で会議に参加

がんゲノム担当医
主治医・担当医
病理医
薬剤師
遺伝カウンセラー
看護師
事務担当
その他関係者



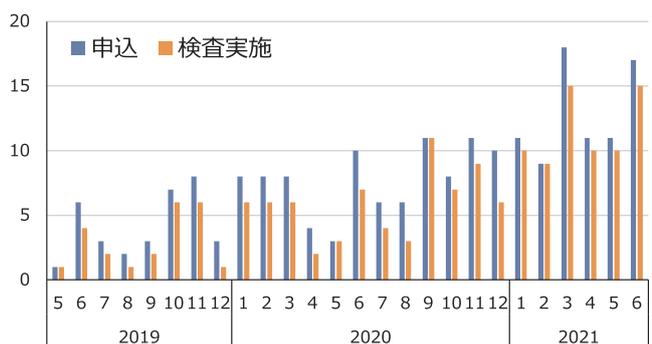
10. 熊本大学病院で実施した遺伝子パネル検査

2021年8月13日時点で、申込数は213件（保険診療開始時点から）

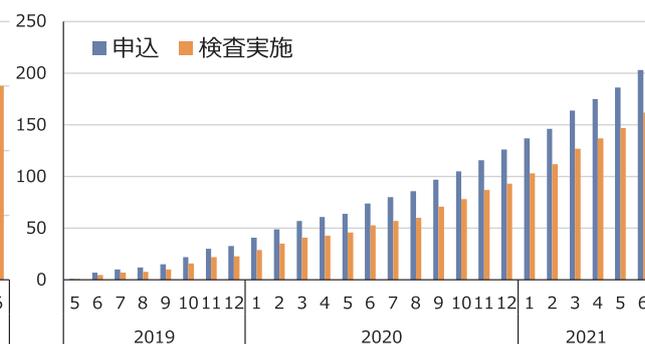
検査提出・結果受領済 159件

検査提出済・結果待ち 6件

(人) 月別の申込推移

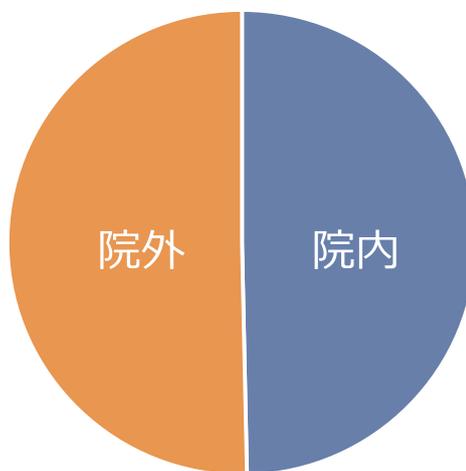
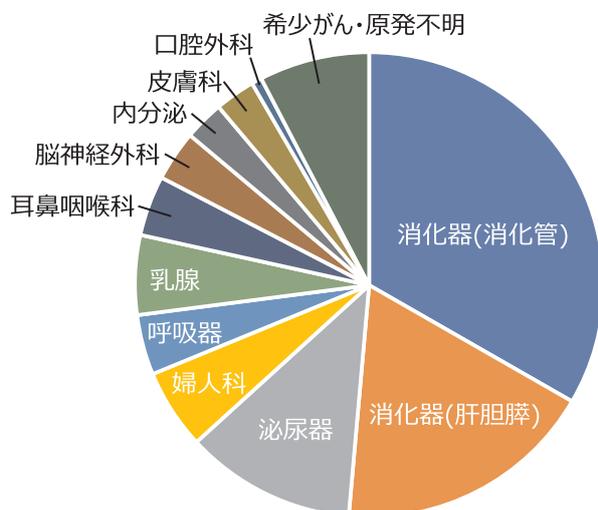


(人) 月別の申込推移(積み上げ)



熊本大学病院における検査数と内訳

消化管	48	耳鼻咽喉科	6	合計: 147例
消化器(肝胆膵)	26	脳神経外科	5	
泌尿器	17	内分泌	4	
婦人科	11	皮膚科	4	
呼吸器	6	口腔外科	1	
乳腺	8	希少がん・原発不明がん	11	



検査実施数: 147例

2021年7月31日時点での集計

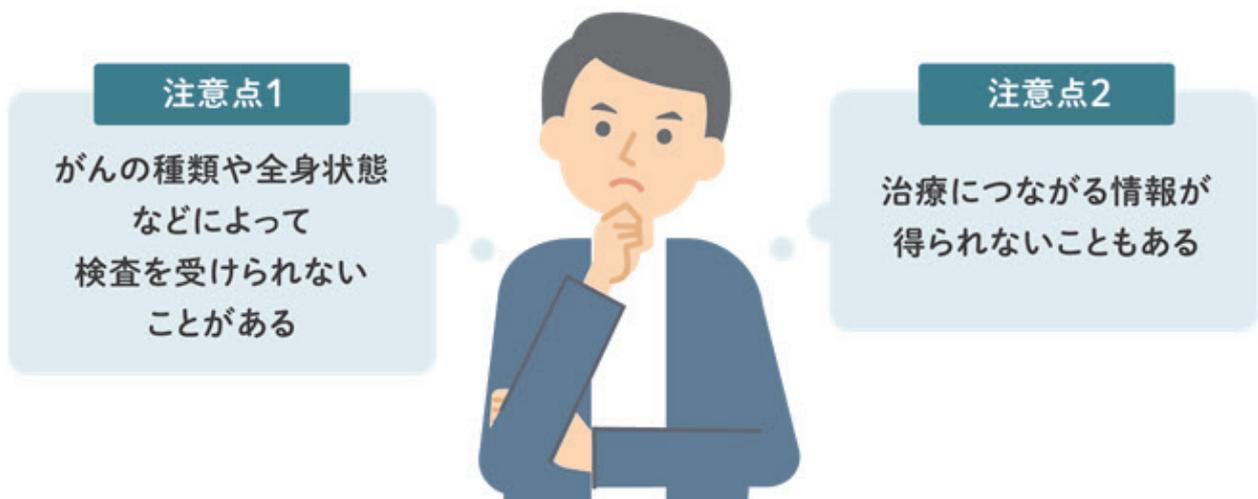
11. がん遺伝子パネル検査を受ける際の注意点

注意点1

- 保険診療で行われるがん遺伝子パネル検査の対象となるのは、以下の場合です。
 - ① 標準治療がない・もしくは終了する可能性が高い固形がん
 - ② 局所進行もしくは転移があり、標準治療が終了した固形がん
- また、検査の前には担当医が全身状態を確認し、検査により候補となる薬剤が得られた場合に、実際に治療に進むことが期待できる患者さんを対象とします。

注意点2

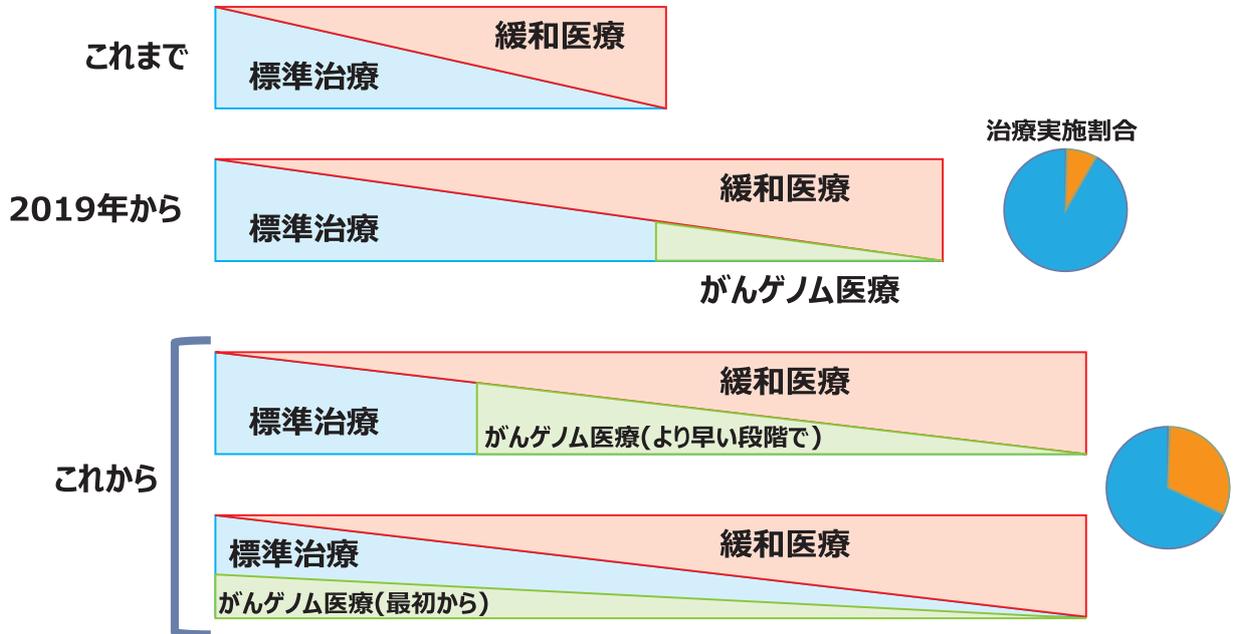
- がん遺伝子パネル検査を受けても、治療につながる情報が得られないことがあります。
- 現時点で、検査を受けて治療につながる割合は10%程度と報告されています。
- また、治療の候補となる薬剤が治験薬等の場合には、使用に一定の条件があります(遠方へ治療を受けに行かなくてはならない場合がほとんどです)。



12. がんゲノム医療の位置づけ

がん遺伝子パネル検査が実用化されたことにより、標準治療が終了したあとの患者さんにおいても、がん細胞の持つ遺伝子変異を基にした治療が受けられる可能性が出てきました。

今後、より早い段階でがん遺伝子パネル検査を受けられるようになり、より個別化・最適化された治療が受けられるようになることが期待されています。



13. 検査を希望される患者さんの受診の流れ



(注1) リキッドバイオプシー検査の場合には、病理組織標本を必要としません。
 (注2) 自由診療や先進医療の場合には自費検査となり、費用が異なります。

14. がんゲノム医療におけるチーム医療:看護師の立場から

検査前

緩和ケアを基盤とした実践に、がんゲノム検査に関するニーズに応じた情報提供と意思決定支援の要素が含まれます。

- 最後の標準治療あるいは標準治療がない病期の葛藤や揺らぎを支える支援
- 保険診療のがんゲノム検査対象でない場合の理解と納得を支える支援
- 遺伝性腫瘍の可能性がある場合の結果説明を受けるか否かの意思決定支援

検査後

緩和ケアを基盤とした実践に、がん遺伝子パネル検査結果をふまえた、がん薬物療法の選択、治療の拠点、療養場所に関する意思決定支援が含まれます。

- 遺伝子変異に基づいた治療法が見いだせなかった時の苦悩を支える支援
- 遠方あるいは費用負担のある治療の選択肢を提示された時の意思決定支援
- 遺伝性腫瘍を疑われた時に、遺伝カウンセリングにつなぐ支援

15. 多職種連携によるがんゲノム医療の実現

がん遺伝子パネル検査の検査前～結果説明までのプロセスに関わる医療者間の情報共有と円滑な連携によって、患者・家族を医療チームで支えます。

1) がんゲノムセンター担当医

がんゲノム医療全般の調整、検査説明

2) 診療科主治医・担当医

検査の同意取得・検査結果の説明

3) 病理医・臨床検査技師

検査に用いる組織標本の評価、検体作成

4) 薬剤師

治験や臨床試験の適応確認、実施状況の把握

5) 看護師

患者さんやご家族のケア・サポート、医療チームメンバー間の調整

6) 臨床遺伝専門医・遺伝カウンセラー

遺伝的背景が示唆される遺伝子バリエーションの評価、遺伝カウンセリング

7) 医療情報技師

検査を実施するためのシステム構築

8) ゲノムメディカルリサーチコーディネーター(事務担当)

検査の補助説明、院内のコーディネート、外部医療機関の窓口・対応

9) がん相談支援センター、地域連携センター等

がんゲノム医療に関する情報提供、外部医療機関受診時の支援

10) 緩和ケアチーム

患者さんやご家族への緩和ケアの提供

16. 熊本大学病院におけるがん遺伝子パネル検査の実施手順

熊本大学病院・がんゲノムセンターのウェブサイトにご依頼方法を記載しています。下記URLよりご確認ください。

<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/dept/e10.html>

熊大病院 ゲノム

検索

上記ウェブサイトより、「がん遺伝子パネル検査目的の当院受診について」という様式を入手してください（本広報誌にも添付しています）。

申込み手続き

- ① 「がんゲノム検査外来 診療申込書」と「診療情報提供書」の2点を、医療機関からがんゲノムセンターまでFAX送付してください。

【宛先】熊本大学病院 がんゲノムセンター(医療サービス課)
FAX：096-373-5828

- ② 上記1の各原本と、他必要書類(※1参照)および病理組織標本(HE染色スライドおよびブロック)をご郵送ください。(リキッドバイオプシーの場合には組織標本は不要です。)

【宛先】熊本大学病院 がんゲノムセンター(医療サービス課)
〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

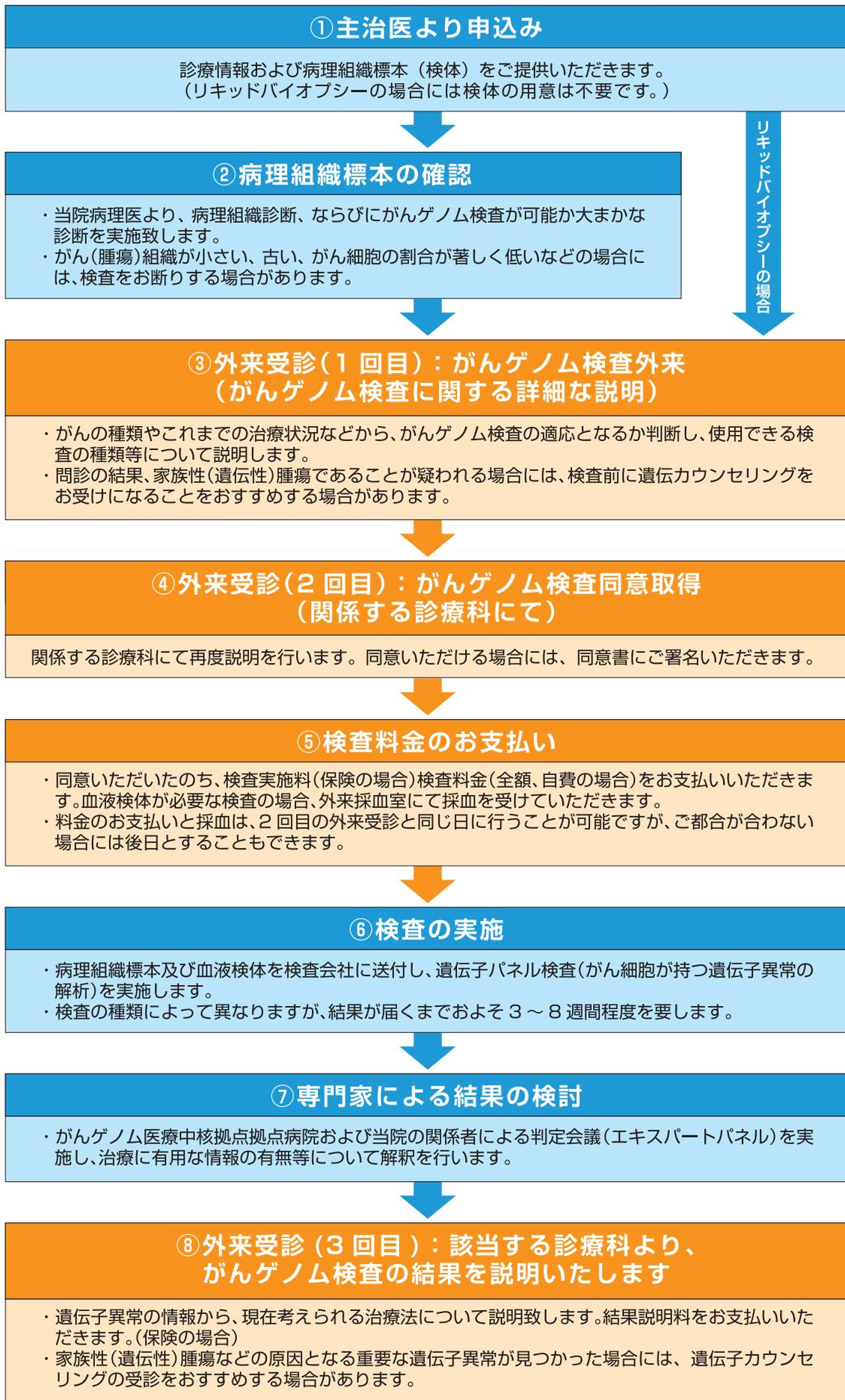
- ③ 提出いただいた検体の腫瘍細胞割合等を事前にチェック後、外来予約をお取りいたします。
- ④ 外来予約完了後、検査のオーダーおよびC-CATへの登録に必要な情報のご提供をお願いいたします。(当院担当者より主治医の先生へ依頼させていただきます。)

ご不明の点がございましたら、
熊本大学病院病院
医療サービス課 地域・がん医療連携担当
がんゲノムセンターまで
お問い合わせください。

【電話】 **096-373-5643**

【FAX】 **096-373-5828**





リキッドバイオプシーの場合

※治療ができる薬剤が判明する確率は一般に10%と言われていますが、がんの種類によってこの確率は変化します。
 ※検査しても治療薬が見つからないことがあります。また、治療薬が見つかった場合でも、保険適応外の薬剤の場合には、自費診療となるため高額な医療費が必要になることがあります。

がん遺伝子パネル検査目的の当院受診について

貴院の患者さんが当院のがん遺伝子パネル検査を希望される場合、以下の手続きをお願いいたします。なお、当院では、患者さんから直接のがんゲノム検査外来の予約は受け付けておりません。必ず主治医を通してご予約いただくよう、お伝えください。

必要な書類等

紹介元の医療機関にて、下記の1.から5.に示す書類と、6.の病理組織標本(腫瘍検体)をご用意ください。

1. 熊本大学病院 がんゲノム検査外来 診療申込書 (本書類 2 ページ目)
2. 診療情報提供書 (様式自由)
3. 病理診断書、検査結果および画像検査結果のコピーもしくは CD-R
4. 看護情報提供書 (様式自由、必要時任意)
5. 同意書・事前調査票 (本書類 3、4、5 ページ目) ※患者さんにご記入いただく書類です。
6. 病理組織標本 (組織検査の場合)

※病理診断用 H E 染色スライドおよびホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 標本 (ブロック)

予約方法

1. 「がんゲノム検査外来 診療申込書」と「診療情報提供書 (様式自由)」の2点を、医療機関からがんゲノムセンターまでFAXにて送付してください。

宛先：熊本大学病院 がんゲノムセンター (医療サービス課) FAX:096-373-5828

2. 上記必要書類等の1～2の原本と3～4、および6の病理組織標本をご郵送ください。(4は任意)

※書類や検体に不備がありますとがん遺伝子パネル検査の開始が遅れることがありますので、ご注意ください。

宛先：熊本大学病院 がんゲノムセンター

〒860-8556 熊本市中央区本荘 1 - 1 - 1 医療サービス課

3. 検体の腫瘍細胞割合等を事前にチェックさせていただきます。(規定に満たない場合は、標本の追加提供や変更をお願いしており、出検までに時間を要します。特に生検検体の場合は、可能な限りブロックでの提供にご協力ください。)
4. がんゲノム検査外来の予約をお取りします。(患者さんへ直接ご連絡いたします。)
5. 上記必要書類等の5を患者さんへお渡しいただき、ご記入の上当院来院時に持参いただくようお願いいたします。

お申し込み後ご対応いただきたいこと (がんゲノム検査外来予約完了後)

◎ 検査開始のオーダー登録およびC-CATへの登録に必要な「臨床情報のご提供*」をお願いいたします。

* 臨床情報のご提供は必要に応じ事務担当よりお願いいたします。

ご紹介にあたって留意いただきたいこと

1. がん遺伝子パネル検査は、検査結果説明までに約1.5ヶ月程かかります。
2. その後、推奨治療が存在する場合などの症例に対してがん薬物療法が検討されます。治療実施施設は推奨された治療の内容によって異なり、治験等の実施施設へ紹介となる場合があります。
3. がん遺伝子パネル検査を実施する上で、下記に該当する場合は保険診療の適応外となる可能性が高いことを患者さんにご説明ください。

PSが2以上である。

ご本人の外来受診が不可能である。

生命予後が1-2ヶ月以内と予想される。

お問い合わせ先

熊本大学病院 がんゲノムセンター (医療サービス課) 電話：096-373-5643 (直通)

熊本大学病院 がんゲノムセンター

主治医の先生作成

予約時にがんゲノムセンターへ送信
096-373-5828（医療サービス課）

がんゲノム検査外来 診療申込書

※□はいずれかに☒（チェック）をしてください。

申込日 年 月 日

受診者情報			
フリガナ 患者氏名	(□男・□女)	年齢 生年月日	歳 西暦 年 月 日
住所			
電話番号	①	②	
当院受診歴	□なし □あり	診察券の番号 ()	
病名	貴院受診状況	□外来通院中 □入院中 ※外来でのみ受け付けます	
原発臓器	<input type="checkbox"/> 食道 <input type="checkbox"/> 胃 <input type="checkbox"/> 十二指腸/小腸 <input type="checkbox"/> 結腸/直腸/肛門 <input type="checkbox"/> 肝/胆/膵 <input type="checkbox"/> 頭頸部 <input type="checkbox"/> 肺/縦隔 <input type="checkbox"/> 腎 <input type="checkbox"/> 乳腺 <input type="checkbox"/> 子宮/卵巣 <input type="checkbox"/> 骨/軟部 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 脳/脊髄 <input type="checkbox"/> 皮膚 <input type="checkbox"/> 甲状腺 <input type="checkbox"/> 泌尿器 <input type="checkbox"/> その他 ()		
PS	□0 □1 □2 □3 □4 ※PS(Performance Status)が0~1の方のみ検査の対象です。		
検体	<input type="checkbox"/> 組織検体 (FoundationOne CDx / NCCオンコパネル) ※右項目に☒をお願いいたします	病理標本	<input type="checkbox"/> ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 切片標本 <input type="checkbox"/> ブロック (当院でスライド作成後、残りを返却します。) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> なし ※生検可能部位 □あり □なし
	<input type="checkbox"/> リキッドバイオプシー (FoundationOne Liquid CDx) ※採血は同意後に当院で行います。		
希望受診日	<input type="checkbox"/> いつでもよい <input type="checkbox"/> 希望日 (年 月 日) ※予約日時に関してはご希望に沿えない場合がございます <input type="checkbox"/> 受診できない日 () ・がんゲノム検査外来は原則として週1回木曜日午前中の予約診療となっております。		
紹介元情報			
(送信元) 医療機関名		診療科	
ご担当医	先生		
TEL (直通)		FAX	
ご担当者 (諸連絡先)	(部署名)	(ご氏名) 様	
継続支援先 ご担当看護師・ケースワーカー等担当者	所属部署 () ご氏名 () 様 TEL ()		
◎継続したサポートをお願いしたい場合、貴施設のご担当者のかたへ看護情報提供書を送付、または電話連絡をいたします。ご担当の方より事前の情報提供が必要な場合は、下記連絡先へご連絡ください。			

・診療情報提供書（様式自由）と一緒に FAX にてご送信ください。

（送信後、各原本とその他必要書類および組織標本等をご郵送ください。）

お問い合わせ先：熊本大学病院 がんゲノムセンター（医療サービス課） TEL：096-373-5643（直通）

熊本大学病院

がんゲノム検査外来受診 同意書

熊本大学病院長 殿

私は、熊本大学病院のがんゲノム検査外来を受診するにあたり、検査申し込みの有無にかかわらずがんゲノム検査説明料として、保険適用外料金として定められた金額（11,000 円）を支払うことに同意致します。

【本人署名欄】

同意年月日： 年 月 日

署 名： _____ 印

【代諾者署名欄】（患者さんが未成年または自筆困難の場合）

同意年月日： 年 月 日

署 名： _____ 印

患者氏名： _____

続 柄： _____

代諾者同意である理由：患者さんが未成年または成年後見人のため
患者さんが自筆困難なため

(以下は該当する場合に記入)

同席者氏名 _____ (患者さんとの続柄 _____)

同席者氏名 _____ (患者さんとの続柄 _____)

※この同意書は、がんゲノム検査外来受診の際にご持参下さい。

ご本人とご家族の病気に関する調査票

当院ではご自身やご家族の病気について詳しくお伺いするために、調査票のご記入をお願いしています。ご記入いただいた情報をもとに、必要に応じて医療スタッフが直接詳しく伺うことがあります。遺伝的なリスクが高いと判断された場合には、当院遺伝カウンセリング外来における遺伝カウンセリングなどをお勧めする場合があります。

氏名 _____

年齢 _____ 歳

ご記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

【1】あなたご自身のことを教えてください。

- ・喫煙歴： なし / あり _____ 本（日） _____ 年間
- ・飲酒歴： なし / 禁酒した / あり 頻度：月に一度/月に2-4度/月に2-3度/月に4度以上
- ・現在投与中の薬： _____
- ・今までに罹った病気と、その年齢： _____
- ・アレルギー歴： _____

【2】ご家族のことを教えてください。性別に○を、お亡くなりになった方には年齢に○をご記入ください。

- ・お子様： a男・女 _____ 歳 b男・女 _____ 歳 c男・女 _____ 歳 d男・女 _____ 歳
- ・お子様の子（孫）：

aの子	bの子	cの子	dの子
男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳
男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳
男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳
- ・兄弟姉妹：

①男・女 _____ 歳	②男・女 _____ 歳	③男・女 _____ 歳	④男・女 _____ 歳
--------------	--------------	--------------	--------------
- ・兄弟姉妹の子：

①の子	②の子	③の子	④の子
男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳
男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳
男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳	男・女 _____ 歳
- ・父親（ _____ 歳）の兄弟姉妹：男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳
- ・母親（ _____ 歳）の兄弟姉妹：男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳
- ・父系祖父（ _____ 歳）の兄弟姉妹：男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳
- ・父系祖母（ _____ 歳）の兄弟姉妹：男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳
- ・母系祖父（ _____ 歳）の兄弟姉妹：男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳
- ・母系祖母（ _____ 歳）の兄弟姉妹：男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳 男・女 _____ 歳

- ・父方の家系・母方の家系・兄弟姉妹・お子様・お孫さんに、がんの方がいらっしゃいますか。

(例)

がんの種類	父親/父親側の家系	診断された年齢	母親/母親側の家系	診断された年齢	兄弟・姉妹/子ども	診断された年齢
肺がん	父	53歳	なし			
乳がん	なし		おば・祖母	45歳・55歳	姉	48歳

がんの種類	父親/父親側の家系	診断された年齢	母親/母親側の家系	診断された年齢	兄弟・姉妹/子ども	診断された年齢

- ・ご家族の中で同居されている人はどなたですか。

[]

- ・治療のこと、生活のことなど一番相談に乗ってくれる人はどなたですか。

[]

【3】今後の見通し（治療方針、予後など）について、主治医からどのように説明を受けていますか。

[]

【4】当外来を受診するに至った経緯を教えてください。

自分で調べた/主治医に勧められた/その他

[]

【5】がんゲノム医療の費用について、あなたやご家族の希望をお聞かせください。

- 保険診療の範囲で希望する。
- 保険適用でない場合、自費でも希望する。

【6】現在お仕事をされていますか。

- はい（現在のご職業についてご記入ください）（)
- いいえ（以前就かれていたご職業についてご記入ください）（)

【7】先進医療特約が付いた民間保険の有無について教えてください。

あり / なし / わからない

2 「私のノート」・「私の日記」

「私のカルテ」の姉妹版

「私のノート」・「私の日記」ってなに？

- ✓ 自分の思いをなかなか言葉にできなくて…
- ✓ 体調の変化を書く物がないかな？
- ✓ たくさんの医療者に関わってもらっているけれど、誰に何と言われたかな？
- ✓ お薬の量は、今のままで大丈夫だろうか？等々



そんなお悩み解消の一助になることを願い作られました

「私のノート」

「私の日記」



©2010 熊本県くまモン



どちらも **発行無料**

啓発キャラクター「わたノト」ちゃん

【お問い合わせ先】

熊本大学病院内
熊本県「私のカルテ」がん診療センター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1-1
TEL:096-373-5764・5763(直通)
FAX:096-373-5768

「私のノート」・「私の日記」の内容は
ホームページでもご覧頂けます。

私のノート 私の日記

検索

<https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/Canconsultation/mykarte/index.html>



3 在宅緩和ケアマップ

令和2年2月に発行しました緩和ケアセンター広報誌に掲載させて頂いた歯科医院のうち、在宅緩和ケアマップでの情報公開にご賛同頂きました歯科医院の情報を、令和2年10月に下記ホームページに追加いたしました。

情報公開にご協力・ご助力を賜りました熊本県の各歯科医院・熊本県歯科医師会・熊本県健康福祉部の皆様に心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後も公開する情報を増やしていきたいと考えておりますので、ご協力頂けますようお願い申し上げます。

<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/cmc/zkmap/>

熊本大学病院 (財) 日本医療機能評価機構認定病院

外來のご案内 入院のご案内 診療科等のご案内 医療機関の方へ 教育・研究・研修 建物案内 熊大病院について

本院は **完全予約制** となっております

ご予約をしないと思込できませんので、事前に予約をして受診いただきますようお願いいたします。

ご来院の皆様へ

バス時刻表 (大学病院前)

お車での来訪は午前中大変混雑いたしますので、公共交通機関をご利用下さいませようお願いいたします。

再診の受付開始時間は

当日最初の検査・診療 予約時間前(15分前)

受付時間 【初診・再診完全予約制】

初診 8時30分～11時 (紹介状必要)

再診 8時30分～17時15分

【外来診療解禁】 7時30分～

【自動再来受付機】 8時15分～

【夜間】 8時30分～

休日 土曜、日曜、祭日、振替休日、年末年始 (12月29日～1月3日)

がん診療科の診療日および担当医

※診療券・保険証をお持ち下さい

※予約日時の変更等がせじの方は、外来予約センターをご利用下さい

がんセンター/都道府県がん診療連携拠点病院

がん相談支援センター

外来化学療法センター

緩和ケアセンター

2019年 がんセンター/都道府県がん診療連携拠点病院

2019.05.07

熊本大学病院 熊本県がん診療連携拠点病院

トップページ

がん診療連携拠点病院

熊本県の在宅緩和ケアマップについて

熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会では、患者さんやその家族に対して、在宅緩和ケアの情報を提供することを目的として、緩和ケアマップを作成いたしました。

熊本県の在宅緩和ケアMAP

緩和ケアMAPのご相談をされた場合は、必ずかかりつけ医にご相談の上、ご連絡下さいませようお願いいたします。

熊本県 在宅緩和ケアMAP

熊本県内の医療機関へお知らせ

1. 本マップにすでに情報掲載している医療機関で、掲載情報の修正・削除等ありましたら、お問い合わせをお願いいたします。

2. 本マップに情報掲載希望の医療機関で、在宅緩和ケアを実施されており、情報の掲載を希望される場合は、様式に記載の上、提出をお願いいたします。

新規掲載：別紙様式3 (診療科) 【Word 40KB】

新規掲載：別紙様式3 (診療科) 【Word 38KB】

【連絡先】

医療サービス領域・がん医療連携部

TEL: 096-373-5993

E-mail: iyks-gantenkei (アットマーク) jimu.kumamoto-u.ac.jp

*「(アットマーク)」を「@」に 変えて下さい。

熊本県「在宅緩和ケア」医療機関マップ

ご覧になりたい医療圏名をクリックしてください。

市町村ごとに在宅ケアを行っている医療機関の情報をご覧いただけます。

修正・削除・新規掲載依頼はこちらから

熊本	熊本市中央区 熊本市東区 熊本市西区 熊本市南区 熊本市北区
宇城	宇土市 宇城町 奥里町
有明	高尾市 玉名市 玉東町 御木町 西原町 長洲町
熊本	山鹿市
菊池	菊池市 合志町 太宰町 菊陽町
球磨	阿蘇市 小国町 小国町 益城町 高森町 南阿蘇町 西原町
上益城	御船町 高島町 益城町 甲佐町 山鹿町
八代	八代市 津川町
天草	水俣市 西原町 津久井町
球磨	人吉市 錦町 益城町 多良木町 湯前町 氷上町 湯浅町 五木村 山江村 球磨村
天草	天草市 上天草市 玉名町



4 一般市民への普及啓発活動

パネル展の開催

緩和ケアセンターでは、より多くの県民の方々に対し、「緩和ケア」についての知識や技術を広げていく取り組みの一環として、県民公開講座を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の中止となり、令和2年度からパネル展に変えて情報発信しております。パネル展示およびリーフレット配布においては、熊本県、熊本市をはじめとして、熊本県がん診療連携拠点病院、緩和ケア病棟のある病院など多くの施設の方々にご協力頂いております。ありがとうございます。引き続き「熊本県緩和ケアパネル展」として続けて参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

第1回 パレアロビー展

2021年1月6日(水)～20日(水)



第2回 イオンモール熊本展 (来場者数：128名)

2021年8月23日(月)～29日(日)



第3回 下通アーケード展 (来場者数：171名)

2021年10月23日(土)・24日(日)



第4回 熊本県立図書館展

2021年10月30日(土)～11月10日(水)



第5回 パレアロビー展

2021年12月6日(月)～20日(月)



リレー・フォー・ライフくまもとへの参加

緩和ケアセンターは、例年「がんセンター」として「リレー・フォー・ライフくまもと」に参加しております。昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。次回開催時には、例年取り組んでおります「チャリティーレモネードスタンド」で参加したいと考えております。

写真は「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018くまもと」の様子です▶



5 医療従事者への活動

緩和ケア研修会の開催

がん診療に携わる医師等が、緩和ケアについての基本的な知識を習得し、がんの治療の初期段階から緩和ケアが提供されることを目的として「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に沿って開催しています。

令和3年度、熊本大学病院では7月25日(日)に開催し、医師40名、薬剤師5名、看護師3名が緩和ケア研修会を修了いたしました。

熊本県緩和ケアチーム研修会の開催

がん対策基本法およびがん対策推進基本計画の理念に基づき、がん患者に対して適切な緩和ケアが提供できる体制を整備するため、県内のがん診療連携拠点病院の緩和ケアチームの問題点を共有し、質の向上と機能強化を目的として、令和元年より熊本県緩和ケアチーム研修会を開催しております。令和3年度は、11月27日(土)に「地域での困り事を再共有し、課題を明らかにすることで、課題の解決方法を探る」を目標としてZoomによるオンラインにて開催いたしました。

15施設の参加があり、50名(医師：13名、看護師19名、薬剤師：9名、MSW：4名、PT：2名、栄養士：2名、事務(県)：1名)が緩和ケアチーム研修会を修了いたしました。

栄養士のための緩和ケア研修会の開催

平成28年度より、緩和ケア関係の栄養・食事における諸問題について学ぶ研修会を開催しております。

今年度は、9月23日(祝)に「アドバンス・ケア・プランニング ～やってみよう、自分自身のACP～」というテーマでZoomによるオンライン研修を開催し、25名の栄養士の方にご参加頂きました。

今後も多職種を対象とした研修会を行って行きたいと考えております。

第4回 熊本県栄養士のための緩和ケア研修会

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)
～やってみよう、自分自身のACP～

2021.9.23 祝
9:30～12:30

方法 Web開催(Zoom)

対象 栄養士・管理栄養士 先着40名
(施設単位でご参加の場合は、
下記担当へご相談下さい。)

申込方法 参加申込フォーム(下記URLまたはQR
コード)へ必要事項を入力し、申請下さい。
<https://palliativecare.kuma-u.jp/survey/index.php/551313?lang=ja>

申込締切 2021年9月3日(金)

プログラム

9:30～9:35	あいさつ 熊本大学病院 栄養管理室長 三島 裕子 先生
9:35～10:25	基礎講義 熊本大学病院 緩和ケアセンター長 吉武 淳 先生
10:40～11:30	ワークショップ 「やってみよう、自分自身のACP」
11:45～12:15	意見交換
12:15～12:25	まとめ 熊本大学病院 緩和ケアセンター長 吉武 淳 先生
12:25～12:30	アンケートなど

主催：熊本大学病院 緩和ケアセンター 共催：熊本大学病院 栄養管理部
後援：熊本県栄養士会・熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会

お問い合わせ：熊本大学病院医療サービス課地域・がん医療連携担当
Tel：096-373-5993 Mail：ijks-ganrenkei@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本緩和ケアカンファレンスの開催

熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会との共催により、熊本地域の病院や緩和ケア病棟、在宅支援診療所等の緩和ケアに関わる医療、介護、福祉、行政その他が協働して、緩和ケアに関する事案・課題・連携協力に関することを全人的に協議・研究し、熊本の緩和ケアの質を向上することを目的として、熊本における緩和ケアの関係者を対象とした「熊本緩和ケアカンファレンス」を毎月1回程度開催しています。

開催情報は熊本大学病院緩和ケアセンターホームページにて随時更新しています。参加は無料となっておりますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

令和3年度 熊本緩和ケアカンファレンス開催予定一覧

回	開催月	主催病院	タイトル・(備考)
第92回	5月19日(水)	国立病院機構熊本南病院	『最近何かと耳にする”白血病”って何ですか!?!』 (第154回熊本南病院地域連携研究会)
第93回	5月27日(木)	熊本大学病院	『在宅における老衰死と緩和ケア』
第94回	6月23日(水)	熊本大学病院	『その緩和的鎮静、本当に必要ですか？ ～鎮静の定義と適応～』
第95回	7月28日(水)	熊本大学病院	『その緩和的鎮静、誤解されてませんか？ ～各論：鎮静の方法と説明～』
第96回	9月15日(水)	熊本市市民病院	『緩和ケアチーム活動報告』 『コロナ禍での在宅医療』
第97回	10月	くまもと森都総合病院	新型コロナの影響により中止
第98回	10月28日(木)	熊本労災病院	『地域医療における人生会議の実情』
第99回	11月5日(金)	熊本中央病院	『非がん患者の意思決定支援を、はじめから丁寧に』
第100回	11月12日(金)	熊本大学病院 共催) 国立病院機構熊本南病院	『病診連携・多職種連携と「お作法」』
第101回	12月3日(金)	大腸肛門病センター高野病院	「人生の最終段階における意思決定支援とは」
第102回	12月6日(月)	熊本大学病院	第87回生涯教育・研修医セミナー
第103回	12月9日(木)	熊本赤十字病院	「緩和ケアにおける東洋医学の魅力」
第104回	12月16日(木)	済生会熊本病院	「がんゲノム医療と実際」
第105回	1月20日(木)	熊本大学病院	<事例検討> 『その人らしく生きる権利を支えるには?』
第106回	1月27日(木)	熊本地域医療センター	精神疾患を持つ患者の終末期看護 (「緩和ケアに関する研修会」)
第107回	2月	熊本医療センター	

6 熊本県がん診療連携拠点病院



都道府県がん診療連携拠点病院

① 熊本大学病院

熊本市中央区本荘1-1-1
☎096-344-2111

地域がん診療連携拠点病院(国指定)

① 熊本労災病院

八代市竹原町1670
☎0965-33-4151

④ 熊本医療センター

熊本市中央区二の丸1-5
☎096-353-6501

② 人吉医療センター

人吉市老神町35
☎0966-22-2191

⑤ 済生会熊本病院

熊本市南区近見5-3-1
☎096-351-8000

③ 熊本赤十字病院

熊本市東区長嶺南2-1-1
☎096-384-2111

⑥ 荒尾市民病院

荒尾市荒尾2600
☎0968-63-1115

熊本県指定がん診療連携拠点病院

① 熊本中央病院

熊本市南区田井島1-5-1
☎096-370-3111

⑥ 天草中央総合病院

天草市東町101
☎0969-22-0011

⑪ 熊本南病院

宇城市松橋町豊福2338
☎0964-32-0826

② 熊本再春医療センター

合志市須屋2659
☎096-242-1000

⑦ 熊本地域医療センター

熊本市中央区本荘5-16-10
☎096-363-3311

⑫ 阿蘇医療センター

阿蘇市黒川11266
☎0967-34-0311

③ 熊本総合病院

八代市通町10番10号
☎0965-32-7111

⑧ くまもと森都総合病院

熊本市中央区大江3-2-65
☎096-364-6000

⑬ 熊本市民病院

熊本市東区東町4-1-60
☎096-365-1711

④ 水俣市立総合医療センター

水俣市天神町1-2-1
☎0966-63-2101

⑨ 大腸肛門病センター高野病院

熊本市中央区大江3-2-55
☎096-320-6500

⑤ 天草地域医療センター

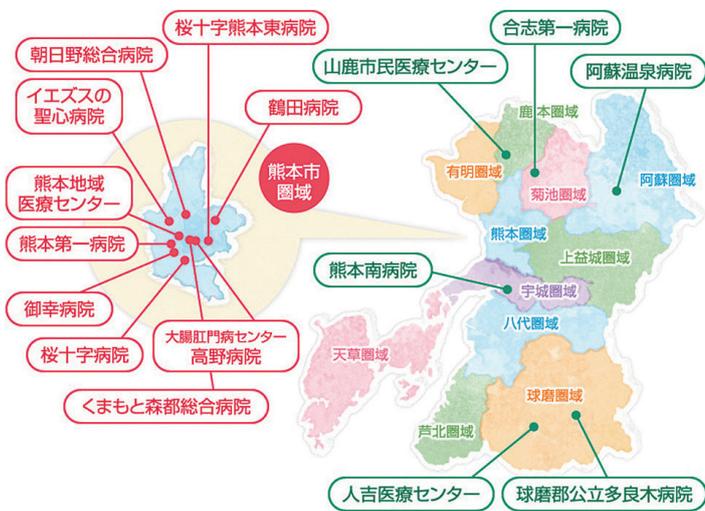
天草市亀場町食場854-1
☎0969-24-4111

⑩ 山鹿市民医療センター

山鹿市山鹿511
☎0968-44-2185



7 緩和ケア病棟のある病院



熊本地域医療センター

熊本市中央区本荘5-16-10
☎096-363-3311

熊本第一病院

熊本市南区田迎町田井島224
☎096-370-7333

くまもと森都総合病院

熊本市中央区大江3-2-65
☎096-364-6000

朝日野総合病院

熊本市北区室園町12-10
☎096-344-3000

大腸肛門病センター高野病院

熊本市中央区大江3-2-55
☎096-320-6500

山鹿市民医療センター

山鹿市山鹿511
☎0968-44-2185

イエズスの聖心病院

熊本市西区上熊本2-11-24
☎096-352-7181

合志第一病院

合志市御代志812-2
☎096-242-2745

桜十字熊本東病院

熊本市東区三郎1-12-25
☎096-383-5555

阿蘇温泉病院

阿蘇市内牧1153-1
☎0967-32-5250

鶴田病院

熊本市東区保田窪本町10-112
☎096-382-0500

人吉医療センター

人吉市老神町35
☎0966-22-2191

桜十字病院

熊本市南区御幸木部1-1-1
☎096-378-1111

熊本南病院

宇城市松橋町豊福2338
☎0964-32-0826

御幸病院

熊本市南区御幸笹田6-7-40
☎096-378-1166

球磨郡公立多良木病院

球磨郡多良木町大字多良木4210
☎0966-42-2560

8 緩和ケアセンターのご案内

みなさんと
話し合いながら
ご希望に添った支援を
行っていきます。
いつでもお気軽に
ご連絡下さい。



☘ 症状に関する相談

- ☘ 患者さんにご家族に関する相談
- ☘ 訪問看護師さんとの同行訪問
(専門・認定看護師が同行)
- ☘ 勉強会の開催、講師派遣、など

- ◆TEL 096-373-5637 【月～金】8:30～17:15(祝日および休診日を除く)
080-5790-2220 ※緊急用
- ◆FAX 096-373-5587
- ◆Mail kanwa@jimui.kumamoto-u.ac.jp
- ◆WEB WEBカンファレンスが可能です。
まずはメールでご相談ください。

平成28年3月に開設しました熊本大学病院緩和ケアセンターのホームページが新しくなりました。医療関係者の方を対象とした会員ページを用意し、熊本緩和ケアカンファレンスやセミナーの動画配信ができるようになりましたので、ぜひ会員登録してご覧下さい。

熊大病院 緩和ケアセンター  で検索して下さい。

医療者の方へのお知らせも掲載しています。



謝 辞

今年も皆様に緩和ケアセンター広報誌をお届けできることを、本当にうれしく思います。今まで本広報誌の紙面に貴重な情報をご提供いただいた多くの方々に、心より感謝申し上げます。2020年に始まったコロナ感染拡大による全世界への影響が続いていますが、それでも社会が少しずつ落ち着きを取り戻しつつあるのではないかと感じています。

今回の広報誌では、「ゲノム医療・がん遺伝子パネル検査」をテーマにさせて頂きました。多大なるご支援を賜りました熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学講座 教授・熊本大学病院がんゲノムセンター長の松井啓隆先生に心から感謝申し上げます。がんの検査・治療が急速に進歩していることを実感しています。標準治療が困難となりつつある方々にとっては大きな朗報ではないでしょうか？まだまだ課題も多いと松井教授は言われていますが、それでも今後の知識・経験と実績の積み重ねが多く課題をひとつひとつ解きほぐし、がんに対する大きな武器となることは間違いないと確信しています。

さて、コロナ第6波が来るにしても、医療切迫にならないような準備と心づもりが必要だと多くの方々が思っているのではないのでしょうか？コロナ感染対策を念頭にした緩和ケア病棟の対応も、徐々に安定しつつあるようです。ただ、感染拡大前と比べると病棟で思う存分に面会することや、自宅に外出するのは思い通りにいかないようです。コロナという自然災害級の世界的危機を乗り越え、日本が医療・社会システムを中長期的に見直すきっかけになることを祈っています。そして、コロナだけではなく日本の2025年問題も含め、山積みとなっている世界的な課題(地球温暖化、海洋プラスチック汚染、エネルギー、貧富の格差拡大、気候変動等々)に対し、ユヴァル・ノア・ハラリの「人間の愚かさをけっして過小評価してはならない」という言葉が気になっています。

この緩和ケアセンター広報誌の目的は熊本県内の医療関係機関等を対象とし、緩和ケアに資すると思われる情報を職種や地域の垣根をこえて提供することです。もっとこんな情報がほしいというご希望がございましたら、遠慮なく当緩和ケアセンターまでご一報ください。皆様のお力添えを得て、コロナ禍でも熊本県民が心身共に安心して暮らしていける社会の充実に熊本大学病院緩和ケアセンターが貢献できるよう、今後ともご支援・ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

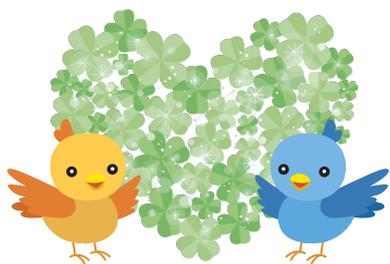
令和3年11月

熊本大学病院緩和ケアセンター長

吉武 淳







緩和ケアセンター

TEL 096-373-5637

FAX 096-373-5587

Mail kanwa@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ホットライン 080-5790-2220
